



華となれ!

宮城県仙台二華中学校
学校だより 第39号
【発行日】平成31年3月11日
【連絡先】022-296-8104
【文責】
副校長 阿部 一彦

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

【3年生海外研修旅行 3】

2月24日（日） 香港から仙台へ



夕食は、広東料理、四川料理、北京料理、そして、潮州料理と、香港にしながら、中国の多様な食文化を学ぶことができました。食べ残しをしないように、男子が女子の分まで食べきっていました。「こんなにきれいに食べてくれる修学旅行生は初めてで、感激です」と、どの店でも褒めていただきました。



5日間、仙台からずっとコーディネートしていただいた JTB さん、看護師さん、香港での様々なことを教えていただいた3人のガイドさん、バスの運転手さんなど、とても素晴らしい方々に支えていただいたことで、この研修は実り多いものになりました。現地ガイドさんが最後の挨拶で、「皆さんにお逢いできたことに感謝します。人生の先輩として、これからの長い人生の中で大切にしていきたい3つの言葉を最後にご紹介します。“①挨拶をする、②時間を守る、③笑顔を忘れない”を大切に、グローバル社会で活躍できる人になってください。皆さんの今後のご活躍を期待しています」と話されました。

2月24日（日） 香港から仙台へ



仙台到着は、日曜日の19時過ぎとなりましたが、多くの保護者の方にお出迎えをいただき、ありがとうございました。3年生は、この5日間で、たくさんの貴重な経験を通し、一人一人大きく成長することができました。改めまして保護者の皆様のご理解とご支援に感謝申し上げます。

この研修を通して、二華中生の学びに対する真摯な姿や探求する力を感じました。昆虫の写真を撮り続けたAさん、列車に乗る度に列車の番号の写真を撮ることでその車両の性能を調べていたBさん、どの見学地でも説明を聞いた後に説明したことについて質問をし続けたCさんなどなど。二華中学校での3年間の学習の成果だと確信しました。

また、学級や学年全体の動向を常に把握し、より充実した研修旅行になるよう、級友をしっかりささえていたDさん、どんな疲れている状況でも皆に笑顔で優しく接していたEさんなど、一人一人が互いの良さを認め合い、共に高め合うことができる3学年の良さが輝いていた5日間だったと思います。

3年生は、自らの考えを積極的に発信する態度や、将来は国際社会を舞台に活躍する意思を高め、わが国や世界のために貢献したいという、より高い志を育てることができたはずです。また、英語での交流においては、日本の伝統文化や高い技術力等をしっかりと発信でき、更に、香港・マカオがもつヨーロッパとアジアが融合した文化を肌で感じ取ることもできました。

この研修旅行を終えた3年生を見ると、自信を持って、明るく挨拶している生徒が増えたように感じています。学んだことをすぐに自らの生活に取り入れられることは、若者の柔軟性や豊かな心、特権だと思います。

3年生は、今週が中学校生活の最後の1週間となりましたが、これまで学んだことを生かして、母校の後輩達に、明るい、希望の種をたくさん残して行ってほしいと願っています。